

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2016年 4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2016年 4月1日発行 通巻276(毎月1回発行)

創立50周年行事に

仲間と共に参加しよう

4月号目次

・ 目 次	2
・ 定時総会報告（1）	3
・ 退任のあいさつ	4
・ リレーエッセイ 高見 信明	5
・ リレーエッセイ 佐川 美枝子	6
・ 統一クリーンハイク案内	7
・ ゆう便りNO—18	9
・ 県連便り	11
・ 県連予定表	12

表 紙 説 明

千葉県連 第50期・第51期 定時総会が開催されました。
会場手配の都合で例年に比べ、狭い会議室になってしまった。
定員90名の会議室も、代議員・役員で満席となり、若干足り
ずロビーの長椅子を使いました。
次年度は、ゆったりした会場で開催したいと思います。

千葉県連盟・定時総会報告（NO1）

千葉県連会長 広木 国昭

第50期（2016年度）・第51期（2017年度）定時総会が開催されました。
以下の通り報告をします。

◆ 実施日時・会場 : 2016年3月6日（日） 13時より

千葉県総合スポーツセンター研修棟会議室

◆ 来賓 : 全国連盟・大澤 辰雄 副理事長・組織部長

◆ 参加者 : 代議員総数 78名 出席数 74名 委任状 3名

傍聴者 3名 欠席数 1名

（県連盟規約第6条（1）代議員は、会員10人に1人）

◆ 千葉県連の組織

加盟会・会員数 : 19会 768名

: 10名以下 3会 10名～20名 6会

20名～50名 4会 50～100名 3会

100名超 3会

新規加盟会 : 2015年度4月に「千葉アルパインクラブ」加盟

◆ 総会の目的と課題

1 山での事故は絶対に起こさない。

千葉県連盟では、2014年6件・2015年11件の事故が発生した。軽度の事故であったが重大事故になる可能性もあった。2015年全国連盟の死亡事故は12名であった。事故を無くすため、教育・学習活動を実践しよう。

2 組織強化に取り組み、楽しく明るく会活動を実行しよう。

組織は数が全てではないが数の力も必要です。新しい仲間を迎える活動、迎えられる組織をつくろう。

3 県連盟活動に、会・クラブの代表を送ろう。

理事会・委員会活動に参加し、県連盟活動を活発にしよう。千葉県連盟は、委員会活動が中心です。委員会に会・クラブから代表を送ろう。

4 千葉県の豊かで美しい自然を守ろう。

自然保護セミナーの成功に学びふるさと房総の自然を守ろう。創立50周年記念クリーンハイクを成功させよう。[6月4日（土）5日（日）七里川溪谷]

5 千葉県連盟役員・事務局員・を選出しよう。

役員を選出が出来ない現状を克服し、欠員役員を選出しよう。特に、事務局体制の確立は急務です。

◆ 全国の情勢 : 全国連盟における会員減少は深刻で、625団体・19,985名となり前期より651名が減少した。関東ブロックでも、都連盟は145名が減少、他の4県連盟も15名前後が減少した。会員減少の要因は、高齢化により会運営や山行が出来なくなった事が報告されている。全国の会員の年齢構成で60以上が64%と過半数を超えている。千葉県連盟の平均年齢は61歳です。

つづく

退任のご挨拶

吉田 哲治

この度、県連盟の理事長を退任することになりました。2011年の3月に就任して以来5年間、多くの方々に支えていただきありがとうございました。

この1年半ほどで環境が大きく変わり仕事に費やす時間が多くなり、50周年記念など県連の行事に関わることがほとんどできなくなっていました。とても中途半端な状態で理事長という重責を担うことができなくなり、退任とさせていただきます。後任も決まらないなかで、大変申し訳なく思っています。

この5年間を振り返る中で一番の出来事が、3月6日に理事長をお引き受けし、その5日後に起きたあの震災です。気仙沼から石巻へと、県連の多くの仲間と共に被災地に通い続けました。石巻の水沼には全国連盟より多くの仲間が集い、そこで幾多の地方連盟の方と交流することができたのも、横の繋がりの強い労山であればこそだと思います。震災より一年後には、「NPO 法人ちば労山ゆう」を立ち上げることができました。未曾有の被害を目の当たりにしたとき、かなり長い支援活動が必要になるだろう、ここはNPOを立ち上げて支援活動を継続していくべきだと、被災地・被災者への熱い想いを持った同志の声があったからこそ設立することができたのだと思います。設立より4年、活動は石巻から福島へと軸足を移しつつ、今日に至っています。

一方では、理事長をお引き受けする前は自分なりの県連での仕事を思い描いていた部分もあったのですが、かなりの時間を支援活動に費やしてしまい、それが適わなかったのは、今では残念なことです。特に、沢登りの好きな私は、県連内に沢のネットワークを構築したいと模索してみたのですが、力不足でした。

また、県連理事長退任と同時にNPOの代表も降りたいと表明したのですが、なかなか代わってやってもらえる方もなく、やむなく代表の名前だけは残すことになりました。これからは、NPO ゆうでの活動で県連活動とも少しはつながっていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

最後に、県連活動は広木会長を始め、数人のメンバーが実務を担っているのが実情です。事務局不在の状態が長く続いているのはとても不幸なことだと思います。退任する者が言えた義理ではないのですが、各会・クラブには多くの有能な人材が揃っていますので、県連活動へのご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

爺と婆の「房総族グループ」で50座完登達成

東葛山の会 高見 信明

千葉県連創立50周年記念行事で、千葉の山に登ろうが取り組まれ、バリ島トレッキングの参加は無理なので、房総の山50選なら頑張れば、我々でも取り組める行事と思い鬼泪山のキツクオフに参加しました。

その時の私の車に同乗したメンバーが、一緒に房総の山50選に参加することになった。キツクオフの鬼泪山では、鹿野山、三室山②3座 千葉県の最高峰408mの愛宕山の開放日には、東葛山の会はバス山行を企画し、23名が参加二つ山にも登り、夕暮れの大山千枚田も楽しみました。又県連のロングハイクにも22名が参加し、津辺野山、石尊山、清澄妙見山、会の正月バスハイクで烏場山と、団体登山で9座を、残りの41座に80歳、78歳女性、76歳②3名平均年齢78歳による「爺婆房総族」の50座登山がスタートした。

- ・11月10日 鋸山 嵯峨山
- ・11月29日 大福山 御岳山 三石山
- ・12月1日 御殿山 大日山 伊予ヶ岳 富山
- ・12月26日 津森山 人骨山 金 比羅山 城山
- ・12月27日 房の大山 高塚山 経塚山
- ・1月16日 八郎塚 高宕山 安房高山
- ・1月21日 久留里愛宕山 上総富士 大塚山
- ・2月6日 三群山 山の神 豊岡愛宕山 関大塚山
- ・2月25日 元清澄山
- ・2月28日 鴨川富士 とび巖山 江見大塚山 高鶴山 峰岡浅間
- ・3月8日 野の塚 殿中山 三条大塚山 大多喜高塚山 伊藤大山
- ・3月17日 野見金山 浅間山 音信山 御所塚山（50座達成）

50座達成の日 東葛山の会会長（50周年記念山行実行委員長）の安彦会長が爺婆の50座達成に同行してくれました。おかげで大変助かりました。

最後の日に私の車がパンクするハプニングに見舞われてしまい、安彦会長の車でガソリンスタンドまで行ったり来たりで、修理はできずタイヤを購入したりで1時間のロスをしてしまいました。

安彦会長のガイドで、野見金山、浅間山、音信山、そして最後の御所塚山をクリア50座完登の握手と万歳で記念写真を撮り、爺婆暴走族の房総の山50座登山が終わった。尚50座で唯一の雪山登山？ 元清澄山をはじめ周囲の山が、うっすらと雪景色に覆われた。

山ヒル 唯一殿中山で遭遇、二人に腰から脚元に2～3匹取りついてしたが、被害なし。

松戸山の会に 57 才で入会して 20 年が過ぎました。入会するまでは、あまり登山経験がありませんでした。

先輩にいろいろ指導を受け、高い山に登る事が出来ました。特に印象に残った山、白馬、槍、剣、奥穂高、前穂高等の高い山に登る事が出来た事、又、南アルプス、涸沢の紅葉は天気恵まれ美しかった事、その他数々の山に登る事が出来た事です。

今年度は房総の 50 の山が県連 50 周年の行事として選ばれました。今までに登った山は鹿野山、富山、石尊山、元清澄山、伊予ヶ岳、高宕山、鋸山、大福山、三石山、と今年度登った山は高鶴山、津森山、人骨山、嵯峨山、烏場山、津辺野山、です。これを機会に房総の山に登って見ようと思います。

登りたい山はまだ沢山あります、体力を維持しながら登山を続けたいと思います。他に 20 年以上続けている趣味は刺繍（月 2 回）、健康体操（周 1 回）です。これも続けて行きたいと思っています。

房総の山・50 選について

昨年 10 月 4 日・鬼泪山から始まった、みんなで登ろう「房総の山 50 選」は、各会・クラブの参加・協力をいただき予定通り終了しました。

共通の山行報告書を提出していただき、房総の山・50 選の山行時のガイドブックとして利用できる内容に仕上げる作業を進めています。

山行報告書は安彦さん（東葛山の会）がまとめ、報告書の案内図は伊東さんを中心にかがりび山の会の有志が記入してくれています。

完成した山行報告集は、50 周年記念誌に掲載します。また、千葉県連のホームページにアップし、「低くていい山・房総の山」として県外の山仲間に登っていただきたいと思います。

今回、創立 50 周年記念事業として、みんなで登ろう「房総の山 50 選」に県連をあげて取り組みました。その中で、房総の山の素晴らしさを実感した、次の山にも登りたいなどの声が寄せられています。

ふるさと房総の自然を守る運動・低くていい山・房総の山に登ろう、千葉県連 50 年の集大成として引き継いでいきたいと思います。年内に記念誌を完成し、来年に予定している「50 周年記念交流会」に向けて全力で取り組んでいきます。

各会・クラブ・全会員の参加・協力をお願いします。

千葉県連統一クリーンハイクのお知らせ

県連創立50周年記念事業の一環として、県連盟が取り組んできた追原ダム反対運動を振り返り、ダム建設予定地だった現地を見学しクリーンハイクを行う。

◆ 6月4日(土) 学習会(七里川温泉)

14:00～ 受付

15:00～17:00 鵜沢さんを囲んで、自然保護セミナーで話せなかった所などをざっくばらんに

18:00～ 懇親会

◆ 6月5日(日)9:30～12:00 クリーンハイク(七里川溪谷)

- ・ 3班編制 川の中にも入る予定なのでゴム長靴が好ましい
 - 1班 七里川温泉～ダム堤予定地近くから河原へ つり橋方面へ
 - 2班 つり橋から河原へ つり橋近く～札郷トンネル方面へ
 - 3班 札郷トンネル付近から河原へ 白岩温泉方面へ

別紙 地図参照

◆ 宿泊参加者(4日)

- ・ 宿泊費 7500円 シュラフ・エアマット持参。
酒類 持ち込み禁止 朝食は宿食
- ・ 電車での参加
木更津 13:01→上総亀山 14:08
時間に亀山駅に迎えに行きます。

◆ 日帰り参加の場合

- ・ 朝 9:00 七里川温泉 沖津屋集合
- ・ 電車での参加
木更津 7:24→上総亀山 8:32 この時間に亀山駅に迎えに行きます。

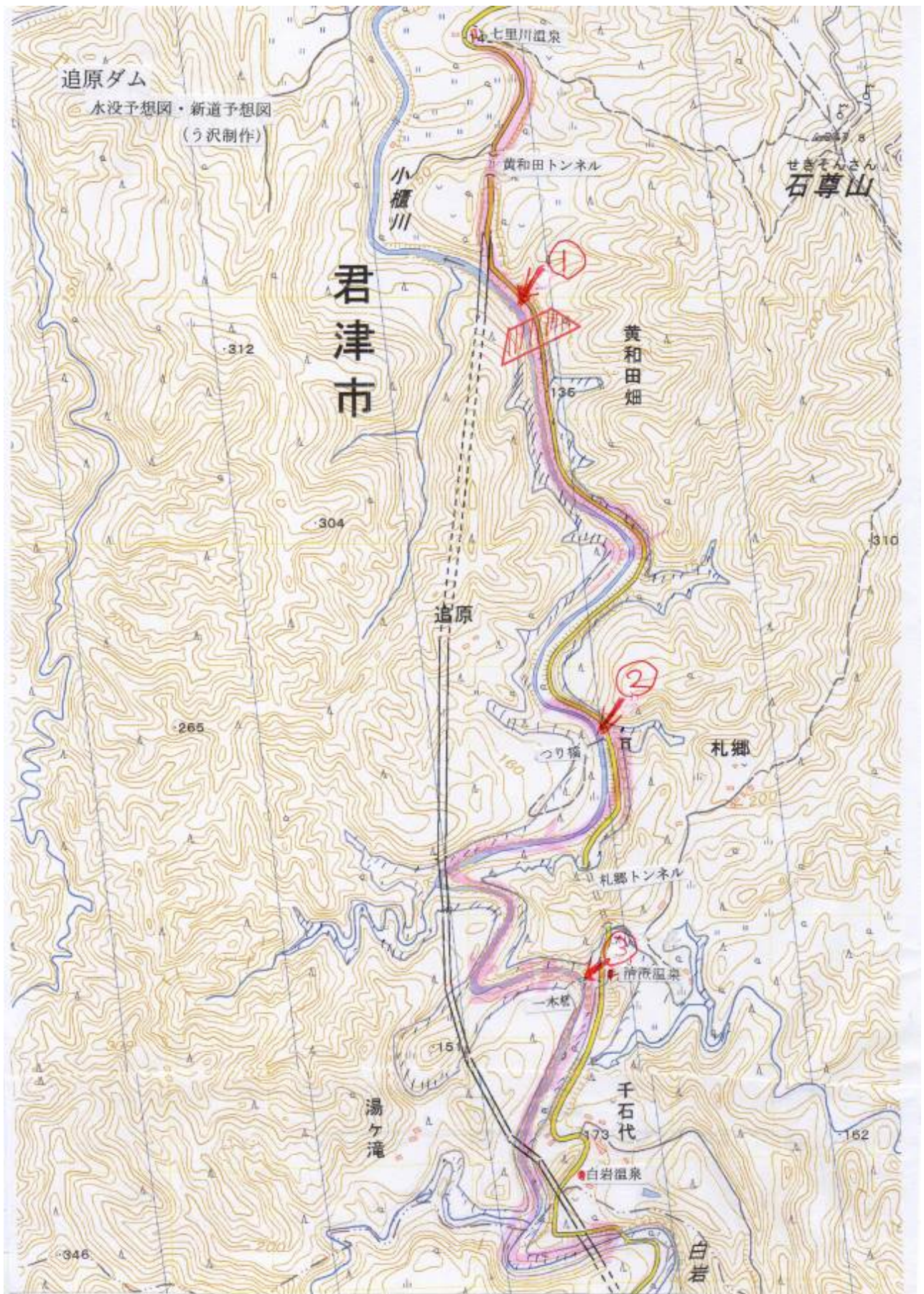
◆ 締め切り日 5月16日

各会、自然保護委員は参加者をまとめ菅井へメールで送ってください。
(5月17日 18:00～ 県連事務所で自然保護委員会を開きます。)

千葉県連盟は、創立以来ふるさと房総の自然保護に取り組んできました。なかでも、追原ダム建設阻止運動は千葉県における自然保護運動に大きな影響を与えました。

千葉県連盟の自然保護運動の、生き字引「鵜沢さん」を囲んで、昨年11月に実施された「自然保護セミナー」で、報告出来なかった事やとっておきの裏話を聞き、今後の自然保護運動についても意見交換をしたいと思います。

気楽に参加してください。



ゆう便り NO.18

NPO法人「ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員のみなさん

今年に入って最初の支援活動になりました。谷川浜での作業終了後東北復興のトッランナーと思われる女川の町を訪れてみました。

女川は、今年の12月23日「おながわ復興まちびらき2015冬」と題して復興祭を開催しております。

<http://www.town.onagawa.miyagi.jp/ayumi27.html>

現在のこの町の様子は本文でご紹介します。

我々は、牡鹿半島への支援を今回をもって完結しようと考えておりましたが、現地に残した花々のお守りや、地元の方々との縁の深さを思う時、やはり唐突に幕を引くことの難しさを悟りました。今後は回数を減らしながらもこの半島とのご縁は続けていくことにしました。

では、早速・・・

- 1、日時 2016.3.19（土）～20（日）
晴れ
- 2、参加 22名（栃木労山3名を含む）
- 3、活動場所 牡鹿半島谷川浜
- 4、宿泊場所 谷川浜、渥美家作業所
- 5、活動内容

・19日 ホヤ養殖準備作業

今回は3ヶ所に分かれてホヤ作業を行いました。（らしい?）

作業内容は、穿孔されたカキ殻に紐を通し貝吊りを作る作業で、我々は既に熟

練の作業員なので、多分、“手元を睨みながら必死の面持ちで”、と言った風景ではなく賑やかに冗談を飛ばしながらも、手元は相当なスピードで進行してベルコンに乗った機械工場のごとく・・・（らしい?）

ン？ なぜ疑問文が使われるのか？

実は、私がこの現場に居合わせなかったからであります。なぜか？

実は、私め、到着の晩、強烈な腰痛に見舞われて救急車で赤十字病院に連れ去られていたのであります。いままで、支援作業中に救急対応が必要になったことはありましたが作業もしないのに救急車に乗った例はないのです。従って、報告者の私が書けるのは上記??の5行のみ。もちろん治療を終えて戻ってからは人並みにホヤ作業も行いましたよ。お騒がせして申し訳ありませんでした。

・20日 ホヤ養殖準備作業継続・女川駅前商店街散策

11時までホヤ作業を行い、その後洞福寺に行ってみました。庭の周囲は植樹が進んでいて寺社の雰囲気が出てきました。寺の奥の方に住民の高台移転のための宅地造成が進んでいます。石田住職がいつものとおりの笑顔で迎えてくれて、寺の由緒や最近の庫裡整備の様子などを語ってくれました。

植樹の根方には水仙苗の植込みも増やしてきました。我々が、以前に植え込んだ水仙苗を鹿の食害から守るため網籠を作ってくれたのも住職でした。異郷の地を踏んだ千葉の水仙を、今後も見守っていかなければいけないですね。

さて、復興が進む女川の様子をお話しましょう。

谷川浜から牡鹿半島の背稜を通る観光道路を女川の町に降りて行くと、復興途上の大規模な造成工事が展開されていて、まさに荒漠たる原野開拓の面持ちです。この開拓地の中央にＪＲ石巻線の女川駅が復旧し、温泉施設“ゆぽぽ”を持つ駅舎を核として港の方向へゆるやかに下っていくプロムナードの両側にピッカピカの駅前商店街が展開しています。ちょうど３連休で駐車場は満杯、みやげもの店も食堂も押すなの盛況でした。女川ま

ちなか交流館には女川の歴史、復興計画の詳細、新しい女川町の計画図など詳細な情報がふんだんに展示されています。あるお店には「赤いダンボルギーニ」（ダンボールで作ったランボルギーニの模型）など若者に人気のスポットになっていました。

遅々に見える東北の復興も、このように次第にその進度を上げていくように見受けられます。強く進んでいく様子をご覧になればその逞しさに感動されると思います。



新装なった女川駅



女川商店街



洞福寺住職を囲んで



屋美家の作業小屋での夕食

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
常時入会出来ます。
・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動日のお知らせ
 - ・ 4月23・24日 福島県
 - ・ 6月18・19日 福島県

 - ◎ 支援物資販売活動について
皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は
「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」
「くきわかめ」「すき昆布」
「とろろこんぶ」
おさしみこんぶは、鍋料理、昆布巻きにするとおいしいと評判です。
宅配も、相談下さい。
支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！
danphiro@zpost.plala.or.jp

県 連 活 動 予 定 表

5月		行事予定	4月		行事予定
1	日		1	金	
2	月		2	土	
3	火		3	日	
4	水		4	月	女性委員会
5	木		5	火	
6	金		6	水	
7	土		7	木	
8	日		8	金	
9	月		9	土	
10	火	県連役員会	10	日	
11	水		11	月	
12	木	「ちば労山ゆう」 役員会	12	火	県連役員会
13	金		13	水	
14	土		14	木	「ちば労山ゆう」 総会
15	日		15	金	
16	月		16	土	
17	火	自然保護委員会	17	日	
18	水		18	月	
19	木	県連理事会	19	火	
20	金		20	水	
21	土		21	木	県連理事会
22	日		22	金	
23	月		23	土	NPO支援活動 ・足尾植樹祭
24	火		24	日	〃 〃
25	水		25	月	
26	木		26	火	
27	金		27	水	
28	土		28	木	
29	日	ふれあいハイク	29	金	
30	月		30	土	
31	火				

発行者 ： 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所に常駐者はいません）

発行責任者 ： 吉田 哲治 編集責任者 ： 広木 国昭

問い合わせ先 ： 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ